令和 7(2025)年度 第 3 回 全学 FD 研修
「教育における AI 活用に関する情報提供」

【企画の意義】

社会のデジタル変革に伴い、大学教育・研究・業務等においても AI 活用が急速に進展している。本学においても教職員の AI 活用能力向上を通じて、教育の質向上を図る。本企画は、AI 未経験者を含む全教職員を対象に、実践的な AI 活用方法を体系的に説明し、導入促進を目指すものである。

１．開催概要

題　目 ： 教育における AI 活用に関する情報提供
場　所 ： 福山大学 未来創造館 2 階 C0201 講義室
日　程 ： 12 月 3 日水曜日 16:30～18:00
対　象 ： 福山大学教職員。欠席者には動画・資料等を提供。
目　的 ： 教育における AI 活用を体系的に説明
形　式 ： FD（ファカルティ・ディベロップメント）として実施、録画あり
構　成 ： 講演 80 分（各講師 20 分×4 名）、質疑応答 10 分　計 90 分
主　催 ： 大学教育センター数理・データサイエンス・AI 教育部門
協　賛 ： 工学部情報工学科
協　力 ： 大学教育センター教育開発部門
関連資料：福山大学 生成系 AI（ChatGPT など）の適切な利用についての
ガイドライン（2023 年 6 月 14 日作成）
https://www.fukuyama-u.ac.jp/campuslife/crc/crc_ict/

２．プログラム

（１）講師１：金子 邦彦 教授（情報工学科）【20 分】

テーマ：AI 基礎知識と導入時の注意点

＜内容＞

- AI の 5 つの能力：知覚・理解（画像・音声認識）、知識処理・記憶（情報検索・要約）、論理推論・数学的思考、生成・創造（文章・画像作成）、計画・実行（手順作成）
- AI の 4 つの限界：ハルシネーション（もっともらしい嘘を生成）、学習データの偏り・古さ、学内事情・業界常識を知らない、最終判断は人間が担う
- 対話型 AI 入門（Copilot や ChatGPT での文章作成）
- 注意点（個人情報・機密情報の入力は禁止、学内規定の確認必須）

（２）講師２：西田 友是 客員教授【20 分】

テーマ：AI 活用の実践的事例紹介

＜内容＞

（講師の体験をもとに AI 未経験者向けに説明）

- AI 活用の意義：CG プログラミング教育の転換、変容
- 講師による AI 活用事例：290 種類の CG アルゴリズム実装支援
（例：レイトレー　シング、フラクタル生成）
- 教育での活用：学生の CG 実習支援、列車内でスマホを使った教材開発の実現、CG ソフト利用（レベル A)、アルゴリズム理解（レベル B)、基本的技法のプログラム作成（レベル C）の幅広い教育レベル対応

（３）講師３：今井 勝喜 准教授（情報工学科）【20 分】

テーマ：教育現場での AI 活用

＜内容＞

・授業設計・教材作成での活用：シラバス作成、学習目標の具体化、評価基準の明確化、理解度別問題作成、授業内容を深掘りするためのケーススタディ開発

・留意点：教育判断は教員が行う、多様な学生への配慮、画一的な進め方の回避

・事例紹介：メタバースによるオンラインコミュニケーションでの AI 活用

（４）講師４：滑川 裕介 准教授（情報工学科）【20 分】

テーマ：学生への AI 活用教育の体系的アプローチ

＜内容＞

・教員による効果実感：教材開発での活用例（AI 検索エンジンの活用、教材の推敲）

・将来展望：各学生の理解度に応じた個別最適化における AI 活用事例

・事例での説明：学生自身による作問と解答と AI からの解説。例「情報セキュリティに関するテスト問題を作成して」「テスト結果を踏まえて、新しい問題を作成して」

【期待される効果】

・全学的な AI 活用スキルの底上げ

・教育の質向上

・学生指導における教職員の対応力向上（特に学生による適正な AI 利用指導）